

千葉県看護協会  
「令和7年度 看護職定着確保動向調査（新人看護職）」結果概要

新人看護職の約6割が辞めたいと思ったことがあると回答しており、2年目に向けての給与アップや人員確保、業務量削減を希望している

調査の概要

調査目的	新人看護職の現状を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県看護協会会員施設(596施設) 及び集合研修の新人看護職員
調査時期	令和7年9月30日～令和7年10月16日
調査方法	千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査。 千葉県看護協会会員施設の看護管理者宛に、調査依頼を郵送し、新人看護職員に配布を依頼、フレッシュセミナー集合研修の参加者にも協力依頼
回収状況	回収数：659名

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

- 性別は、「女性」が87.9%、「男性」が12.1%であった。
- 年代は、「20代」が最も多く88.3%、次いで「30代」が7.0%であった。
- 社会人経験については、「ある」が26.3%「ない」が73.7%であった。
- 養成所の所在地は、「県内」66.5%「県外」33.5%で、卒業学校等は「看護学校」が最も多く48.3%、次いで「大学」45.1%の順であった。
- 職種は、「看護師」が最も多く90.0%、次いで「准看護師」が4.6%、「保健師」とが「助産師」が2.7%であった。
- 就業施設の所在地は、「千葉市」が最も多く106人、次いで「松戸市」、「成田市」59人の順であった。就業施設は、「病院」が95.1%で、病院規模別では、「500床以上」35.1%、「300～399床」17.9%、「200～299床」16.1%の順であった。

表1 施設規模・施設等 (n=659)

病院						
20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床	500床以上	病院合計
17	65	106	118	90	231	627
2.6%	9.9%	16.1%	17.9%	13.7%	35.1%	95.1%

無床診療所	有床診療所	市町村	健康福祉センター	訪問看護ステーション	介護保健施設	社会福祉施設	その他
1	1	7	12	11	0	0	0
0.2%	0.2%	1.1%	1.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%

## 2. 辞めたいと思ったことの有無

○辞めたいと思ったことの有無は、「ある」384名(58.3%)「ない」275名(41.7%)であった。

(n=645)

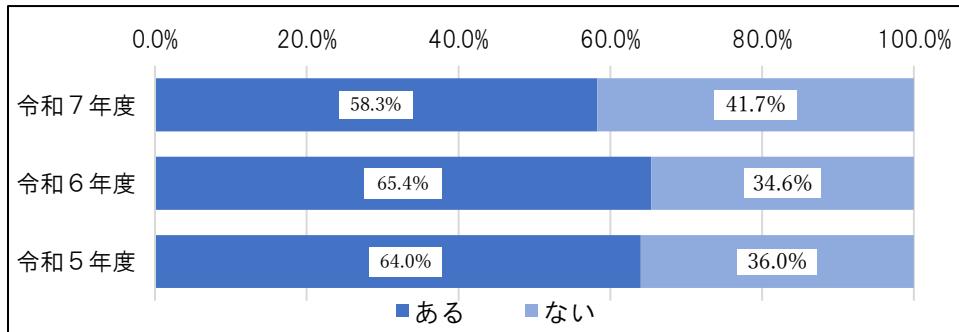


図1 辞めたいと思ったことの有無(3年推移)

○辞めたいと考えた理由は、「自分は看護職にむいていないのではないかと思う」56.5%が最も多く次いで「医療事故を起こさないか心配である」46.9%、「勤務時間内に仕事が終わらない」44.3%の順であった。

(n=384)

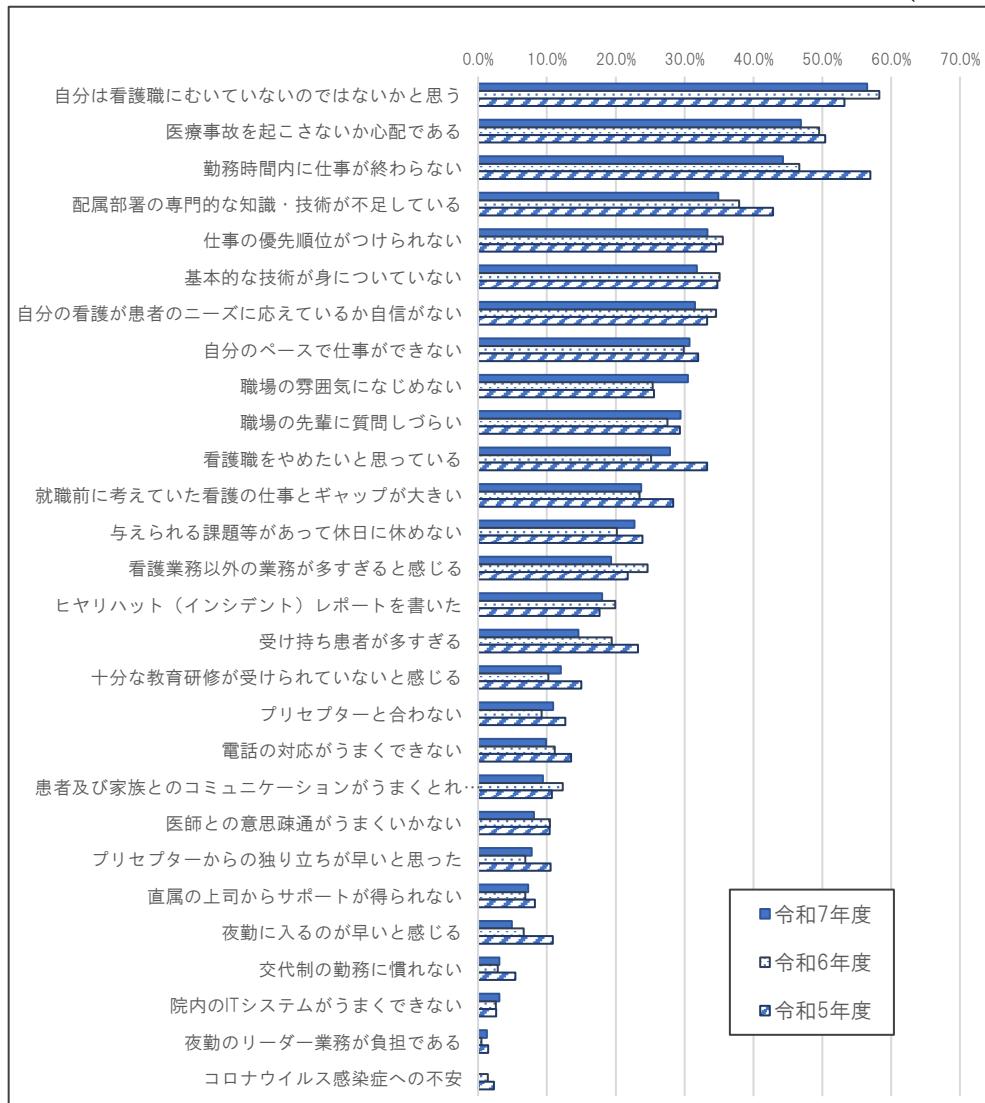


図2 辞めたいと考えた理由(3年推移)

○辞める事を思いとどまったく理由は、「生活していくための手段」が最も多く59.4%、次いで「奨学金返済のため」43.2%、「自分なりに整理がついた」25.0%の順であった。

(n=384)

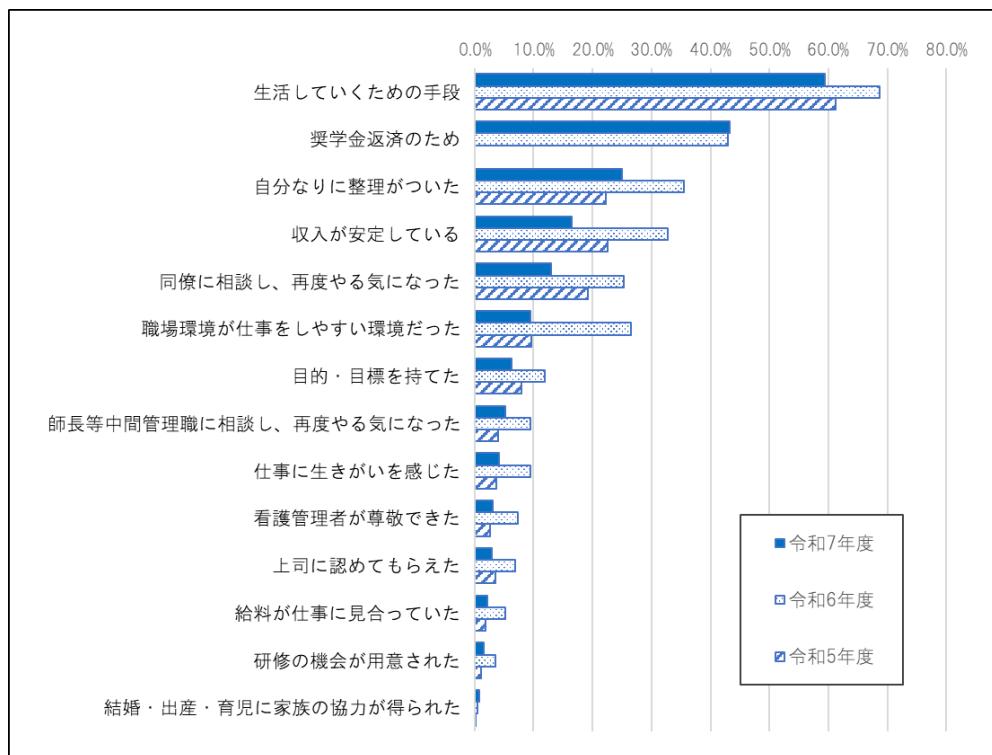


図3 辞めることを思いとどまったく理由 (3年推移)

### 3. 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること

○就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること（複数回答）は、「給与アップ」71.6%が最も多く、次いで「人員確保」47.5%「業務量削減」が34.6%の順であった。

(n=659)

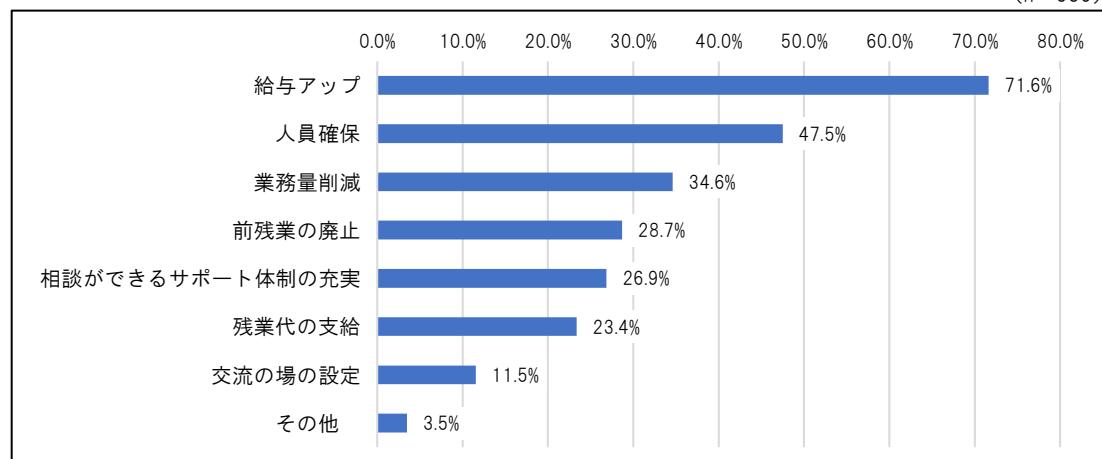


図4 就業2年目に向けて勤務先に対して希望すること (3年推移)